

■令和5年度外部資金活用研究助成事業

協賛：株式会社大塚製薬工場

※所属は申請当時

タイトル	中鎖脂肪酸であるオクタン酸(8:0)とデカン酸(10:0)のどちらを摂取した方が効果的であるか～要介護状態の高齢者における身体機能、認知機能、摂食嚥下機能の向上効果の検討～
氏名 所属	阿部 咲子 帝塚山大学 現代生活学部食物栄養学科・准教授
研究概要	要介護高齢者の身体機能、認知機能及び摂食嚥下機能に効果的である中鎖脂肪酸(MCT)はオクタン酸(8:0)かデカン酸(10:0)かを明らかにする。 デザイン：無作為化二重盲検平行群間介入比較研究 対象者：介護老人保健施設要介護高齢者(65歳以上)60名 介入：MCTであるオクタン酸(8:0)群あるいはデカン酸(10:0)群(各群とも6g/日を昼食に混ぜて54kcal/日付加) 比較：長鎖脂肪(LTC)群6g/日(昼食に混ぜて54kcal/日付加) 介入期間：観察期間(ベースライン)1.5か月後に介入1.5か月間 評価項目：身体計測8(体重、BMI、体脂肪率等)、身体能力(握力、最大歩行速度、FIM等)、認知機能評価(MMSF, NMスケール)、摂食嚥下機能(反復唾液嚥下テスト等)

タイトル	介護老人福祉施設・介護老人保健施設におけるリハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の一体的取り組みが入院、退所、死亡率に及ぼす影響：平成医療福祉グループにおける後ろ向き調査より
氏名 所属	堤 亮介 平成医療福祉グループ 栄養管理部・部長
研究概要	介護保険施設におけるリハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の一体的取組が入院、退所、死亡率に及ぼす影響を明らかにする。 デザイン：後ろ向きコホート研究 対象者：H法人グループ介護老人福祉施設27施設の入所者約2,500名、介護保健施設11施設の入所者約800名、合計約3,000名の既存データ(令和4年1月1日から12月31日及び令和5年1月1日から12月31日) 3群比較：質の高い一体的取組群(A群)：リハビリテーション・機能訓練、口腔・栄養の専門職が情報共有し計画作成、支援が行われている施設入所者、一体的取組群(B群)：3職種が在籍するがカンファレンスに揃わない施設入所者、A及びBに当てはまらない施設入所者(C群) 評価項目：<主評価項目>入院、退所、死亡、 <副次評価項目>低栄養リスク、BMI、体重減

タイトル	特別支援学校・学級における在宅障害児の栄養状態と栄養改善のあり方に関する研究
氏名 所属	藤谷 朝実 淑徳大学看護栄養学科・教授
研究概要	<p>特別支援学校・学級における在宅障害児の栄養状態を明らかにし、栄養ケア・マネジメントのモデルケースを作成する。</p> <p>デザイン:質問紙を郵送したうえでのWEBによる横断的調査及び管理栄養士、栄養士あるいは看護師、保健師への訪問によるインタビュー調査</p> <p>対象:全国の幼稚園・小学校のある知的障害(17校/611校)及び肢体障害児(10校/322校)特別支援学校・学級</p> <p><横断的調査>施設体制:障害種・年齢別人数、教員数、管理栄養士・栄養士・看護師及び保健師数、その他医療職数、給食の有無、管理栄養士・栄養士の業務、食事摂取量や体格の継続的な記録の有無、個別の性別、年齢、障害種、身長、体重、食事の種類等。</p> <p><インタビュー調査>食と栄養問題、栄養改善に対する対応、栄養ケアに対する意識、栄養改善活動、家族とのかかわり等。</p>

タイトル	患者給食の細かな食種設定は栄養療法の効果向上に寄与しているのか?
氏名 所属	深柄 和彦 東京大学医学部附属病院 手術部・教授
研究概要	<p>患者給食における食種や喫食率の実態及び合併症や給食管理のインシデントの発生状況を明らかにする。</p> <p>デザイン:後ろ向き研究</p> <p>対象者:内科系及び外科系病棟の診療録から無作為抽出された18歳以上の経口摂取患者を各150名、合計300名。</p> <p>評価項目:1. 必要栄養量に対する摂取量の充足率 2. 喫食率と充足率を0~50%、50~75%、75%以上の3区分にし、各食種における喫食率及び充足率との関連、3. 2の各食種における3区分の喫食率、充足率と臨床コース、治療、入院期間延長の有無、延長入院日数、栄養関連の血液検査値、感染症の有無、抗生剤の使用の有無、投薬数、(食欲を含めた)消化器症状の有無との関連。なお、以上の後ろ向き調査の分析後に、前向き調査を予定している。</p>

タイトル	管理栄養士教育体制強化による栄養ケア・マネジメントの低栄養患者入院期間への影響
氏名 所属	矢野目 英樹 社会医療法人財団慈泉会相澤病院栄養科・科長
研究概要	病院における管理栄養士教育体制強化による栄養ケア・マネジメントの低栄養患者の入院期間への影響について検討する。 デザイン：後ろ向き研究 対象：入院患者 20,000 人の既存データ 評価項目：在院日数、食事摂取量、血清アルブミン、コレステロール、中性脂肪、血統、HbA1c , HGB、総リンパ球数、BMI、誤嚥性肺炎、尿路感染症、認知症等